



シリーズ
⑩

白い森の 散歩道

～ 3年ぶりのウインタースポーツ大会 ～

2月22日、横根スキー場で、ウインタースポーツ大会が開催され、10地区から計700人が参加しました。10人1組で参加する「全員集合競争」では、転んだり長靴が脱げたりしながらも、息を合わせてゴールを目指す姿に、大きな声援が送られていました。優勝は、北部地区でした。

町の魅力を発信

銀座で「山形暮らしセミナー」

ふるさと暮らし情報センター(東京都中央区)で、1月29日、本町をテーマとした「山形暮らしセミナー」が開催されました。セミナーは、都会で暮らすかたに、山形の魅力を知ってもらおうと、県が企画したものです。

セミナーでは、山遊亭金太郎師匠による講演が行われたほか、茨城県から本町に移住された関英俊さん(五味沢)と、同地区でマタギでもある斎藤重美さんがトークショーを行い、地域の伝統文化を紹介していました。



木を活かした家づくり 木造建築物を考えるセミナー

2/7

二月七日、木造建築物の良さを考える「課題と展望セミナー」が、アスモ多目的ホールで開催されました。これは、木造建築物についての理解を深めてもらうと、町商工会と白い森住宅工房(中原久平代表)が主催したもので、当日は、約百人が参加しました。

セミナーでは、舟渡在住の山形大学名誉教授の塚原初男氏が、木材資源の地域内利用について講演を行ったほか、一級建築士らが具体例を交えながら、木の良さを活かした家づくりについて話していました。

白い森発

ぐるっと
情報局

2/7~8

体験しながら学ぶ地域の文化 体験！冬のマタギ生活2009

二月七日、八日、小玉川地区で、冬のマタギ生活を体験するツアーが開催されました。

小玉川マタギ衆(舟山堅一代表)が企画し、県内外からの参加者十四人に加え、地域文化を学ぶ東北芸術工科大学の学生七人も参加。マタギと一緒に、うさぎの巻き狩りなどを体験しました。またツアーでは、マタギ文化講座も開催され、かんじきの材料に使用されるクロモジの木を使い箸づくりなどに挑戦しました。



—この人に聞く—

1/29



盤昌寺の大法良典住職と護持会役員のかたがた

県間伐コンクール最優秀賞
盤昌寺護持会 代表
伊藤 実千昌 さん(写真右)

田沢頭や北地区のかたがたなどで組織されている盤昌寺護持会が、活力ある森づくり活動を評価する山形県間伐コンクールの保育間伐部門で最優秀賞(知事賞)を受賞し、2月17日に山形市で表彰を受けました。今回は、同会の伊藤代表(田沢頭)にその活動などについて伺いました。

「地域の里山をきれいに手入れしようと、これまでは森林組合に委託して、定期的に間伐を実施してきました。しかし今回は、森林組合に指導を受けながら、実際に役員自ら間伐に参加し、調査を含め約2週間で6反歩ほど手入れをしました。受賞には、住民が直接育林に関わる姿勢が評価されたのだと思います。今後も、緑環境税などの活用を検討しながら、良い木を育てていこうと考えています。」



2/16

男子厨房に入るべし!? 男性の料理教室

二月十六日、健康管理センターで、町社会福祉協議会が主催する「男性の料理教室」が開催されました。

当日は、七人が参加し、町ヘルスマイト(食生活改善推進員)六人の指導を受けながら、ビビンバやひじきの白和えなど三品目に挑戦。慣れた手つきで下ごしらえをしていた参加者は、「妻が入院したとき、料理を学んでいたとても役立ちました」と話していました。

料理教室は、月一回開催され、町社会福祉協議会への申し込みが必要となっています。



特集

「ごみ減量」～いま、私から～



あつちでも...



マイバック、増えています!!



こつちでも...

モノがあふれた現代。過剰な容器包装や、大量廃棄・焼却による環境汚染が問題視されています。今月は、町の現状やレジ袋削減運動などの取り組みを紹介しながら、ごみ減量化と環境への配慮について考えます。

ストッフ温暖化環境に対する心がけ

二〇〇五年、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの削減目標を定めた京都議定書が発効されました。日本は、一九九〇年比で六%削減することとなっています。実際に削減活動を行う「第一約束期間」は、昨年四月からはじまっていて、二〇一二年まで。現在、国は、「チームマイナス六%」

という取り組みをスタートさせ、自治体や企業、各家庭でも二酸化炭素を減らすよう呼びかけています。

現代生活に不可欠なエネルギーの消費は、多くの温室効果ガスを発生させます。

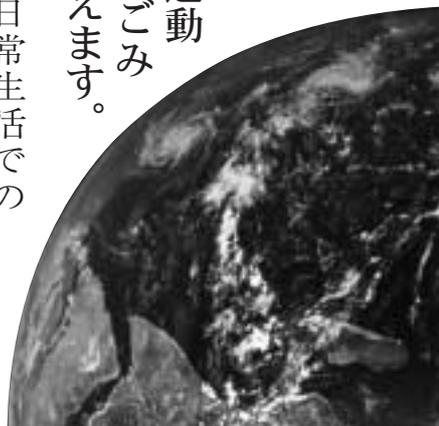
しかし、日常生活での

ちょっとした心がけで、私たち自身から二酸化炭素の排出を削減していくことは十分可能です。エネルギーを上手に使っていくため、そして環境負荷の少ない暮らしをしていくためには、まず、無駄な消費に気を付ける心がけが大切です。

町でも、平成十八年に小園町環境基本計画を策定し、重点事項の一つとして、「ごみの減量化と資源化」に取り組んでいます。

出した分だけ負担するごみの処理経費

昭和四十六年、本町を含む置賜地域の全市町では、「置賜広域行政組合」を組織



し、ごみの共同処理などを行ってきています。

同組合では、千代田クリーンセンターや長井クリーンセンターをはじめ、南陽市と本町にも事業所を設置。

燃えるごみと資源ごみは千代田へ、不燃ごみは長井へというように、ごみの種類に応じて広域的な搬入・処理を実施しています。

処理に要する管理運営費などについては、一定割合で負担率を定め、それに基づいて各市町の分担金が決められています。この分担金のうち、約九割が各市町から搬入されるごみの量によって決められています。

また、千代田クリーンセンターが稼働をはじめた平成十一年四月、組合では、ごみ袋を有料としました。これは、ごみの処理費用を、ごみ袋の売上金からまかなうためのもので、必然的に、多くのごみを出すと、その分多く負担しなければ

なりません。ごみを減らすことは、環境への負担だけではなく、家計や町の負担を減らすことにもつながります。

**生活系ごみが多い
多額な一人あたり処理費用**

置賜地域で排出される可燃ごみは、すべて千代田クリーンセンターで処理されることとなっています。

本町のごみを、可燃・不燃・資源という区別で見ると、一人あたりの年間

可燃ごみ排出量は、約二百一十キロで、五町のなかでは最も多くなっています。また、生活系と事業系で区別してみると、一人あたりの年間生活系ごみ排出量は、約百五十七キロで、南陽市に次ぐ多さです。

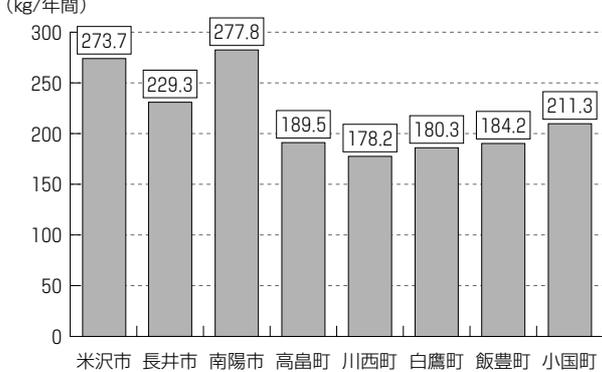
事業系ごみは、市町によって事業所数が異なるため比較できませんが、可燃ごみなどの多くの生活系ごみは、処理機能の中核を担う千代田クリーンセンターに集約されます。処理に要する経費のうち、

平成十九年度の千代田クリーンセンターへの清掃費分担金を市町別に見てみると、本町は、年間約五十五百二十万円。一人あたりでは、年間五千八百八十円ほどで、最も高くなっています。

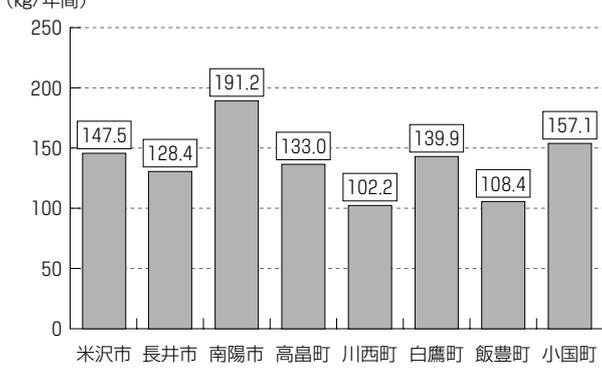
ごみ削減のカギは「レジ袋」暮らしのなかの意識付け

レジ袋に代表される容器包装は、体積で見ると、一般廃棄物の六割を占めるといわれています。また、レ

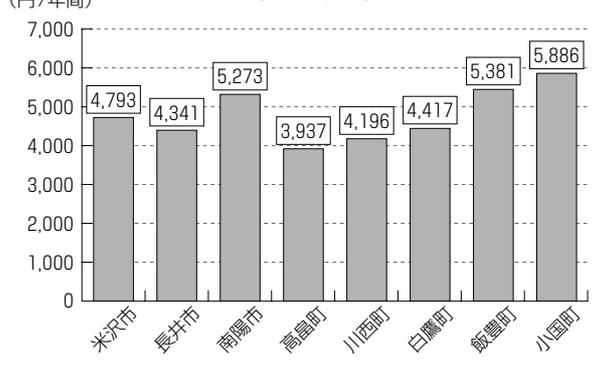
1人あたり可燃ごみ量 (H19年度)



1人あたり生活系ごみ量 (H19年度)



1人あたり清掃費分担金の千代田クリーンセンター分 (H19年度)



レジ袋は、原油をもとに製造されるため、最近では、化石燃料の消費や、製造・燃焼過程における二酸化炭素の抑制などの点からも、削減に向けた動きが活発化しています。レジ袋を削減することは、ごみの総量を減らすことにつながり、処理経費の軽減と、地球環境の保全などに大きく影響することとなります。

全国で年間使用されているレジ袋は、約三百億枚。一人あたり、平均して一日一枚程度を使用していることとなります。

これを本町の場合にあてはめてみると、年間約三百六十万枚ものレジ袋が使われていることとなります。これらが生産され、焼却処分されるまでを考えると、一枚あたり六十二グラムの二酸化炭素が発生。仮に、使用されたレジ袋すべてが焼却処分されたとすると、年間二百二十三トンの二酸化

炭素が発生することとなり、これは百六人分の年間排出量に相当します。

また、一枚につき原油十八ミリリットルが使用されるといわれているため、年間では、町内で六万四千八百リットル（ドラム缶三百二十四本分）もの原油が、レジ袋という形で使用されていることとなります。

ふだんの心がけによって、たとえこの半分であっても減らすことができれば、町全体では、大きな環境貢献につながります。

マイバック
いま、できることから



現在、町では、「ごみ減量運動推奨店」を募集し、マイバック運動を展開しています。主旨に賛同いただいた商店や施設などには、その証明としてプレートを交付し、利用者への啓発活動を行っています。二月十六

レジ袋を削減すると!?



CO2 約 **223t**
原油 約 **64,800ℓ**



ドラム缶324本分

昨年の小国町文化祭では、町衛生組合連合会が子どもたちを対象に「マイバックの給付け体験」も実施



家庭からの二酸化炭素排出量
—町内別内訳—



家庭からの二酸化炭素排出量
—1人あたり内訳—



出典) 温室効果ガスインベントリオフィス



時間をかけずに堆肥化できる家庭用生ごみ処理機

日現在で、三十六の商店などが協力。一月に運動を開始してから現在まで、順調に活動の輪が広がっています。マイバックを持参するかたがたの姿も増え、事業者側も消費者側も、着実にレジ袋削減に対する意識が高まっています。町では、五月三十日（ごみゼロの日）までこの運動を継続し、その動向を見ながら、レジ袋の有料化などを検討することとしています。

もう一つの力「生ごみ」

可燃ごみの重量を考えた場合、最も重量比率の高い

ごみは、水分を多く含む生ごみです。排出量による費用分担金は、重量を基準とするため、ごみの量を減らすと同時に、その重さも考慮しなければなりません。生ごみを出す場合は水気をよく切るほか、なるべく排出しないよう「食べ残しをしない」「作りすぎない」ことも大切です。

しかし近年は、ごみ処理施設の機能が高まり、水分を含んだ生ごみを可燃ごみとして出せるようになり、その結果、可燃ごみに占める生ごみの量が増える傾向にあります。

町では現在、生ごみの排出を抑制するため、家庭用などの「生ごみ処理機械購入」に対して助成を行っています。またこのほか、町衛生組合連合会でも、家庭の生ごみ堆肥化を促進するため、コンポスターの設置への支援を行っています。

気付く瞳、その先に

レジ袋を一枚削減しても、それだけで大きな成果が期待できる訳ではありません。しかし、その実践の輪が大きくなり、それをきっかけとして、多くの「気付き」が養われることは、私たちの暮らし全体を見直すきっかけになります。また、

家庭から、そして子どもたちから、地球環境やその将来に関心をもつことは、グローバル化が進む社会において、とても大切な視点となります。

町では、町民が主体となつたごみの減量化と資源化の取り組みを進めながら、今後関係機関と連携して、環境にやさしいまちづくり



小さなこと だからこそ、みんなで

小国町衛生組合連合会
本間 芳夫 会長

ごみの分別は普及してきましたが、いま大切なのは、ごみ自体を出さない努力をすること。連合会では、商工会や関係団体と話し合いを重ね、ごみ減量化の取り組みを進めています。街頭啓発をとおして、マイバック利用率も高まっていると実感しています。

レジ袋削減だけではなく、分別のさらなる細分化など、検討すべき対策はたくさんあります。しかし、まずはできる事から。小さな活動であっても、多くのかたが取り組めば、それだけ大きな成果を生みだします。

西置賜の 高校再編を考える

地域説明会



二月十九日、総合センターで、県立高校再編に関する地域説明会が開催され、町民や教育関係者など約六十人が参加しました。これは、今後必要となる西置賜地区の高校再編整備に、地域の声を活かそうと県教育委員会が主催したものです。説明会では渡部泰山県教育次長が、「結論ありきではなく、みなさんの率直な声をお聞きしたい」とあいさつ。続いて、田中芳昭高校改革推進室長が、再編計画や西置賜地区の現状、検討の進め方などについて説明しました。

参加者からは、「環境を学ぶ新しい学科の設置ができないか」、「地域事情を考えたい」という声が聞かれました。

今後は、有識者で組織する検討委員会が、説明会やアンケートの結果を踏まえ、来年度末までに報告書をまとめることとしています。県教委によると、平成十六年に約七百六十人だった西置賜の中卒者数は、平成二十六年には五百七十人。教育の適正規模を確保するには、現在より、四学級程度削減する必要があるとされています。



「存続にむけては、定員確保など町民みなさんの力が必要。小国の地域性や特殊性は、私も感じています」と語る田中室長

ものづくり教育フェア

叶水中から二人が入賞

一月二十四日～二十五日、都内で開催された全国中学生創造ものづくり教育フェアで、叶水中学校の生徒二人が入賞しました。

作品コンクール部門では、篠塚ゆりあさん（二年）が「天然杉とヤマブドウ蔓の椅子」を出品し、林野庁長官賞を受賞。また、時間内に木工作品を仕上げる部門では、新井優太くん（三年）が優秀賞を獲得しました。



雪の結晶ってどんな形？

子ども体験教室の冬遊び



一月三十一日、町民広場と総合センターを会場に、子ども体験教室「おぐの冬遊び」が開催されました。参加した十四人の小学生は、雪のなかでリングゴ探しゲームをしたほか、顕微鏡で雪の結晶を観察したりしました。このほか、講師の指導を受けながら、お手玉づくりにも挑戦。小豆を入れ、針と糸で上手に縫い合わせしていました。

伝統の食文化を学ぶ 食農体験学習講座



二月十三日、本年度最終回となる食農体験学習講座が、健康管理センターで開催されました。

当日は、町農業振興公社から講師を迎え、二十四人の参加者が、大豆をすりつぶして作る呉汁や、わらびを使った料理づくりに挑戦。同講座ではこれまでも、農作物の植え付けや、漬物づくりなど、食文化を学ぶ実践活動が行われています。

雑穀料理と人形劇

こども愛ランド

こども愛ランドが、二月十四日、健康管理センターで開催されました。

今回は、雑穀料理づくりに親子三十五人が参加。このほか、おぐに保育園の保育士で結成する劇団「プチトマト」による人形劇が披露され、会場は笑い声に包まれていました。



人権擁護委員に 鈴木恵子さん(緑町)



町の新しい人権擁護委員に、一月から、鈴木恵子さんが委嘱されています。人権擁護委員は、法務大臣から委嘱を受けたかたがたで、住民の基本的人権を守るために、人権意識の啓蒙活動などを行っていきます。また、身近な相談相手として、さまざまな心配ごとや、困りごとの相談に応じていきます。任期は三年です。

小国小の児童

空き缶を車イスに

二月九日、小国小学校(佐藤健治郎校長)で、さいわい荘への車イス贈呈式が行われました。車イスは、児童が三年にわたり収集したアルミ缶などの売り上げで購入。安部靖夫荘長は、「心のこもった車イスを大切に使います」と話していました。



森林セラピー研究会 ～専門家を交え、展開方針を確認～

「気軽に訪れたいくなる空間づくりが大切」と話す住空間工房代表の早坂みどり委員



二月十六日、第三回森林セラピー研究会が、役場で行われました。

本年度最後となる今回の研究会では、これまでの実績を踏まえながら、町の環境を活かした森林セラピーの展開策が活発に話し合われていました。

町では、有識者のかたがたから助言を受けながら、今後の取り組み方法などの検証を行っています。

県森林組合連合会が

木製ベンチを寄贈

二月二十三日、役場で、県森林組合連合会が、木製ベンチ十脚を町に寄贈しました。これは、県内の森林資源を有効に活用しようと、同連合会が間伐材で制作したものです。

町では、福祉、教育、観光などの各施設に設置することとしています。



二月十六日、第三回森林セラピー研究会が、役場で行われました。

本年度最後となる今回の研究会では、これまでの実績を踏まえながら、町の環境を活かした森林セラピーの展開策が活発に話し合われていました。

町では、有識者のかたがたから助言を受けながら、今後の取り組み方法などの検証を行っています。

実践活動に活かすため

町教育委員会主催のボランティア研修会が、二月十六日、総合センターで行われ、町内でボランティア活動などを行っている十五人が参加しました。

研修会では、アイスブレイキングと呼ばれる緊張をほぐす手法をテーマに、実践活動への活用方法を学んでいました。



町体協が功績者に

感謝状と賞状を贈呈

二月二十一日、横根スキー場で、町体育協会の功績者表彰が行われました。

これは、体育振興における功績や、スポーツ競技における活躍などをたたえるもので、当日は、感謝状が二個人、表彰状が六個人一団体へ、それぞれ手渡されました。

その話、信用して大丈夫？ 振り込め詐欺増加中

巧妙化する手口に注意



総合センターで、二月十日、振り込め詐欺に対する講習会が行われました。暮らしを考える会（渡部八江会長）が主催したこの講習会には、町婦人会などから約二十人が参加。小国警察署の職員による講話や、寸劇をおして、さまざまな手口に対する知識を学んでいました。



「オレオレ、携帯電話の番号変わった」は要注意！警察では、ATM利用者を中心に声かけを実施



警察職員らによる寸劇。最近では宅配便を悪用するケースも発生

大事な年金を守るため



二月十三日には、山形銀行小国支店で、小国警察署と町防犯協会による振り込め詐欺撲滅のための街頭広報が行われました。これは、詐欺の予防を図るため、年金支給日にあわせて行われたものです。

昨年一年間の県内における被害は、百三十九件のほり、被害額は十一億円を超えています。太田富雄警察署長は、「不景気にも関わらず、詐欺被害が増えつつある」と、一人ひとりの予防意識を高めていくよう呼びかけていました。

定額給付金詐欺に注意



また同じく十三日、小国警察署と町金融機関防犯協会による定額給付金詐欺撲滅メッセージ伝達式が役場で行われました。これは、今後定額給付金を語る詐欺の発生が予想されることから、行政と関係機関が連携して、意識啓発を呼びかけるものです。

伝達式では、被害撲滅メッセージが町長に手渡されたほか、啓発用のティッシュが寄贈されました。



「禅」で心も健康に

毎週水曜日に行われているすつきりボディチャレンジ隊で、二月四日、新たなメニューとして禅に取り組みました。

これまで、「動」の健康づくりが中心でしたが、今回は「静」をテーマに心の健康づくりとして実施。参加した二十五人は、鈴木良典氏（光岳寺副住職）の指導を受けながら、ゆったりと心身をリラックスさせて、呼吸を整えていました。



募 集

自衛官募集

■募集職種

- ① 一般幹部候補生
- ② 一般曹候補生
- ③ 予備自衛官補（一般公募・技能公募）

■受験資格

- ①は20歳～25歳、②は18歳～26歳、③一般公募は18～33歳、技能公募は18歳以上

■受付期間

- ①②は4月1日～5月12日、③は4月13日まで

■その他

詳しい手続きなどは問い合わせください。

■問合先

自衛隊米沢地域事務所（☎0238-2310011）へ

労働基準監督官募集

■受験資格

昭和55年4月2日～昭和63年4月1日に生まれたかた。または、昭和63年4月2日以降に

生まれた大卒程度の学力を有するかた

■受付期間

4月1日～14日まで

■その他

申込書は各労働基準監督署に用意しています。詳しいことは問い合わせください。

■問合先

米沢労働基準監督署（☎0238-2317120）へ

平成22年歌会始詠進歌募集

■お題「光」

■詠進要領

書式図（横長）

職 業 生年月日 氏名 ふりがな 電話番号 〒住 所 (山折り)	お題「光」 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
--	--

お題を詠み込んだ自作短歌で未発表のもの

一人一首とします。

用紙は、半紙を横長に使用し毛筆で直筆してください。

■受付期限

9月30日

■郵送先

〒100-8111 宮内庁

■問合先

宮内庁式部職あてに、返信用切手を貼った封筒を添えて問い合わせください。

ご案内

ペレットストーブの設置助成制度説明会

日 時 3月8日(日) 午前10時～午後4時

場 所 (有)ハートランドファーム杉沢事務所

内 容 置賜地域地球温暖化対策協議会の助成制度説明(平成21年度分)、ペレットストーブ展示

問合先 エネルギーの地産地消を考える会(☎62

催し

安積校長とうさぎ鍋

日 時 3月8日(日) 午後1時45分～開会

場 所 水源の郷交流館

内 容 安積力也校長(基督教独立学園高校)の講話、歌声発表会など

問合先 東部地区振興協議会(渡部☎65-2208)へ

おきたま食育フェア

日 時 3月8日(日) 午後1時～4時

場 所 アクティイ米沢

内 容 齋藤真由美氏(元バレーボール女子全日本代表)によるトークショーなど

申込先 置賜総合支庁産業経済企画課(☎0238-26-6042)へ

子育て支援センターから

3月12日

おぐに保育園

☆あそびの広場☆

■日程 3月3日、10日、

17日子育て講座「記念品づくりとお別れ会」、24日

■時間 午前10時～

■場所 健康管理センター

■対象者 0歳から入園前の子どもとお家のかた

☆こども愛ランド☆

■日時 3月7日(土)

■時間 午前9時30分～

■場所 健康管理センター

■内容 親子体操、いちご大福づくり

☆なかよし広場☆

■日程と場所 3月5日、19日

総合センター

■問合先

子育て支援センターへ

■申込期限 3月5日(木)

総合センター図書室から

●新着図書

- ◇アイスクリン強し 畠中 恵寿
- ◇犯意 乃南 アサ・園田 寿
- ◇いのちの輝き感じるかい 斎藤 晶
- ◇直江兼続の義と愛 火坂 雅志
- ◇隠蔽捜査 今野 敏
- ◇元職員 吉田 修一
- ◇間違いだらけのエコ生活 武田 邦彦
- ◇クマは眠れない 米田 一彦
- ◇横川ふるさとへの想い 小国町

※ほか多数入りました

●休館日 毎週月曜日、3月20日

事業所名	職種	求人数	勤務時間
遠藤建設(株)	土木施工管理技士	1人	8:00~17:00
(有)蔵王ストア	レジ係	1人	8:45~18:00
(株)ケイプロダクツ	営業	1人	9:00~18:00
ハイコー(株)	電気工事(見習い可)	2人	8:00~17:00
(株)横川建設	土木施工管理技士(見習い可)ほか	4人	8:00~17:00
安部工業(株)	型枠大工ほか	2人	8:00~17:00
大河内産業(有)	ダンプ・重機運転士ほか	7人	8:00~17:00
特別養護老人ホームさいわい荘	看護師、洗濯員	2人	8:30~17:30ほか
(株)小国製麺	製造員ほか	5人	8:00~17:00ほか
小国町教育委員会	教育相談員及び学習支援員	3人	9:00~15:00
(株)山芳工務店	電気メンテナンスほか	15人	6:00~15:00ほか
東北森林管理局置賜森林管理署	事務員	1人	9:00~16:45
北陸地方整備局飯豊山系砂防事務所	事務補助(臨時)	1人	8:30~17:15
小国開発(株)	技術員	2人	8:00~17:00
小国町介護老人保健施設温身の郷	介護員ほか	2人	8:30~17:15ほか
(有)白い森よこね物産品直売所	販売他	3人	9:00~18:00間5時間程度
小国町役場	臨時雇用職員(運転業務)	1人	8:30~10:30 15:00~17:00

今月の納税

今月の口座振替日は、次のとおりです。振替前日まで指定口座に入金してください。

- 3月26日(木) 水道料
- 3月31日(火) 後期高齢者保険料9期、国民健康保険税9期、介護保険料、下水道料・簡易水道料、住宅使用料、保育料

■問合先 税務出納課へ

求人情報

左の表は2月16日現在の求人内容です。無効になっている場合もありますのでご了承ください。※詳しいことは、ハローワーク長井(☎84-8609)へ

保健カレンダー

■問合先 健康福祉課へ

乳幼児健診	月日	受付時間	対象(生まれた月)	場所
4カ月児健診	4/24	13:10~13:20	平成20年12月	健康管理センター ※持ち物 母子健康手帳、 問診票(3歳児 健診のみ)
1歳児健診		13:00~13:10	平成20年4月	
3歳児健診	4/17	12:30~13:00	平成17年8月~10月	

相談

年金相談

- 日時 3月18日(水)
受付 10:30~14:30
相談 11:00~
- 場所 役場町民相談室
- 対応者 社会保険事務所職員
- 問合先 町民課へ

人権相談所

- 日時 3月27日(金)
10:00~12:00
- 場所 総合センター
- 対応者 町人権擁護委員など
- 問合先 町民課へ

山形県労働委員会 労働関係無料相談

- 解雇や賃金に関するトラブル
解決のお手伝いをします。
- 問合先 山形県労働委員会
(☎023-630-2793)へ

県青年司法書士協議会 労働・借金のお悩み110番

- 日時 4月11日(土)
10:00~16:00
- 相談番号 023-615-6086
(当日のみの臨時電話です。
相談は無料)

活用してください 地域包括支援センター

健康管理センターでは、高齢者や障害者に関する介護・福祉・保健・医療などについて、各分野の専門の職員が、個別に相談に応じています。

また、電話相談や訪問相談などもできますので、気軽にお問い合わせください。

■問合先 健康福祉課 (☎61-1001)へ

法務局の各種証明書が 長井市役所で交付できます

法務局長井支局が、米沢支局に統合されたことに伴うサービス低下を防ぐため、長井市役所第2庁舎に証明書交付窓口が設置されています。

- 利用時間 9:00~12:00、13:00~16:30
- 取扱業務 不動産及び会社・法人の登記事項証明書、会社・法人の代表事項証明書及び印鑑証明書(印鑑カード及び代表者の生年月日記入が必要です)
- 問合先 法務局米沢支局 (☎0238-22-2148)へ

建築防災週間です

3月1日~7日は、建築物防災週間です。思わぬ事故や災害時の被害を軽減するため、建物のメンテナンスを実施しましょう。

■問合先 地域整備課へ



65歳以上の世帯に 住宅用火災警報器を無料配布

町では、町民の生命と財産を火災から守るため、住宅用火災警報器を無料で配布することとしました。

■対象者

平成21年2月1日現在に本町に住所を有し、65歳以上のかたで構成される世帯（町営住宅や県営住宅は対象外となります）

■配布方法

住宅用火災警報器1個を、3月中旬以降に対象世帯へ配布します。

■設置と経費

設置と設置後の管理については、使用する世帯で各自行ってください。

■その他

- ・消防法の改正により、平成18年6月1日以降に新築された住宅には、寝室へ火災警報器を設置することが義務付けられています。
- ・住宅の構造上、複数必要な場合もありますので、設置方法について疑問のある場合はお問い合わせください。

■問合先 町民課または消防署小国分署（☎62-2154）へ

3月21日 国道113号 荒川道路が開通します

国道113号村上市南新保～同市坂町間の延長約4.0km区間が開通します。

道路幅が狭い箇所や、大型車両通行禁止区間が解消され、現在建設中の日本海沿岸東北自動車道荒川I.C(仮称)と、国道7号及び主要地方道新潟新発田村上線へのアクセス機能の強化が図られます。

■開通区間

荒川道路：

村上市南新保～同市坂町
 (約3.6km区間)

乙バイパス：

村上市南新保(約0.4km区間)

■開通日時

平成21年3月21日

午後3時ごろ



■問合先 工事に関しては、羽越河川国道事務所工務第二課（☎0254-62-6036）または、村上地域振興局道路課（☎0254-52-7960）へ。管理に関しては、村上地域振興局維持管理課（☎0254-52-7959）へ

職場を訪ねて ⑪

～シニアサロン「風ぐるま」～

今回は、シニアサロン「風ぐるま」を訪ねました。



自ら採ってきたという初物（フキノトウ）を手に、「今日は天ぷらにしよう」と話しかける佐藤さん（左）

シニアサロン「風ぐるま」は、住宅型の老人ホームで、現在、利用者は5人。7人の職員が24時間体制で交代勤務しているほか、訪問介護も行っています。

定年後、第2の人生としてヘルパーの資格を取得し、介護員として働いている佐藤勇一さん（幸町）は、「施設規模が大きいので、その分、明るく家族的な雰囲気に包まれて仕事をしています。身の回りのサポートから料理などにいたるまで、職員1人が担う仕事はさまざまですが、そこに楽しさを感じて、やりがいにつながっています。高齢の利用者もいるので、常に安全に配慮し、特に夜間は気を抜かないようにしています」と話していました。

戸籍のまご

誕生おめでとうございます。

岩井 沢 遠 藤	ふぶき 風 吹	(圭 次 愛)
岩井 沢 高 橋	めいと 明 杜	(泰 弘 美 紀)
沼 沢 井 上	こころ	(賢 和 愛)
岩井 沢 寒河江	ゆうだい 雄 大	(純 子 夕)

おくやみ申し上げます。

栄 町	中津川 ナ ツ	(84)
岩井 沢 渡 部	深 雪	(78)
北 下 山	マ サ	(79)
小国小坂町	村 田 正 子	(92)
沼 沢 高 橋	よしゑ	(95)
若 山 斎 藤	真菜美	(21)
越 中 里 小 池	俊 一	(84)
叶 水 山 口	佳 伸	(57)
若 山 河 内	忠 一	(87)
緑 町 高 橋	トミエ	(89)
兵 庫 館 佐 藤	清 治	(69)
沼 沢 櫻 井	親 男	(82)

人口のうごき

人 口 男	… 4,544人(-8)
女	… 4,783人(-12)
計	… 9,327人(-20)
世帯数	3,264世帯(+2)
平成21年1月31日現在	

編集後記

先日、国内自動車メーカーが新たにハイブリッドカーを売り出しました。この不況のなか、わずかに一日間で、月間目標台数五千台の二倍を受注。あらためて、消費者側の環境意識の高まりを感じました。

一方、今月の特集でコメントをいただいた本間会長からは、耳の痛くなる話も。「町内では多くの学校で、道路のごみ拾いなどに取り組んでいる。捨てている大人は、子どもに拾わせて恥ずかしいのだろうか。環境だけではない、心もきれいでありたいものです。」

(片桐)